



平成19年11月7日

報道機関各位

熊本大学企画部企画課広報室

シンポジウム「有明海の再生に向けて～国・県・大学の試み～」
を開催します。

熊本大学では、このたび、文部科学省科学技術振興調整費の重要課題解決型研究に平成17年度に採択された「有明海生物生息環境の俯瞰型再生と実証試験」(*)第3回シンポジウムを下記のとおり開催いたします。

本シンポジウムでは、熊本大学、国(環境省、農林水産省、国土交通省など)、熊本県を中心とした“有明海・八代海再生”に関する研究活動の発表を行います。

つきましては、広く一般の方へお知らせいただくとともに、当日の取材方、よろしく願いいたします。

*)本研究は、平成17年度～平成21年度の5か年間で予算規模約4億円の大型プロジェクトです。研究代表者は、滝川清沿岸域環境科学教育研究センター教授です。

記

【日 時】平成19年11月28日(水) 10:00～17:20

【場 所】熊本大学工学部百周年記念館(黒髪南地区)

【プログラム】詳細は、別紙をご参照願います。

【参加対象】どなたでも

【参加費】無料

【お申込み】下記問い合わせ先に、住所、電話番号、氏名、年齢を明記の上、ハガキ、FAX、E-mailにてお申込みください。なお、当日の申込みも受け付けます。

～お問い合わせ～

熊本大学沿岸域環境科学教育研究センター 滝川研究室

〒860-8555 熊本市黒髪2丁目39-1

TEL/FAX: 096-342-3800

E-mail: syu-taki@kumamoto-u.ac.jp

シンポジウム「有明海の再生に向けて」

【プログラム】

- 9:30～10:00 受付（熊本大学工学部百周年記念館）
- 10:00～10:10 開会式
挨拶：熊本大学長 崎元 達郎
- 10:10～11:20 「有明海再生への熊本大学の取り組み」
～有明海的环境変遷と再生への取り組み～
（熊本大学 沿岸域環境科学教育研究センター教授 滝川 清）
～なぎさ線、人工巣穴による干潟環境改善の実証試験～
（熊本大学 沿岸域環境科学教育研究センター特別事業研究員 増田 龍哉）
～牡蠣を用いた有明海沿岸の河川環境浄化（バイオレメディエーション）技術の
開発とその有用性～
（熊本大学大学院自然科学研究科助教 中田 晴彦）
- 11:20～12:00 「有明海・八代海再生へのマスタープラン」
～熊本県の取り組み～
（熊本県 環境生活部環境政策課環境立県推進室 環境政策監 森永 政英）
- 12:00～13:00 食事休憩
- 13:00～13:40 「有明海・八代海再生に向けた環境省の取り組み」
～有明海・八代海総合調査評価委員会の活動、環境調査事業について～
（環境省 水・大気環境局閉鎖性海域対策室室長 山本 昌宏）
- 13:40～14:20 「有明海の再生に向けた農水省の取り組み」そのⅠ
～有明海奥部と諫早湾周辺における貧酸素現象の発生状況について～
（農林水産省 農村振興局整備部農地整備課国営事業計画官 瀧戸 淑章）
- 14:20～15:00 「有明海・八代海再生にむけた農水省の取り組み」そのⅡ
～有明海におけるナルトビエイの生息状況について～
（農林水産省 九州農政局整備部農地整備課長 横井 績）
- 15:00～15:10 休憩
- 15:10～15:50 「有明海再生への水産庁の取り組み」
～有明海環境改善のための実証試験について～
（水産庁 増殖推進部漁場資源課補佐 和田 雅人）
- 15:50～16:30 「有明・八代海海洋環境の保全・再生への取り組み」
～環境整備船「海輝」、海洋短波レーダーによる調査・研究と干潟再生技術の取
り組み～
（国土交通省 九州地方整備局下関港湾空港技術調査事務所所長 野村 茂）
- 16:30～17:10 「有明海再生への九州地方整備局河川部の取り組み」
～有明海に流入する河川の実態把握に向けた調査・研究～
（国土交通省 九州地方整備局河川部河川環境課長 朝田 将）
- 17:10～17:20 閉会式